

個人投資家のみなさまへ

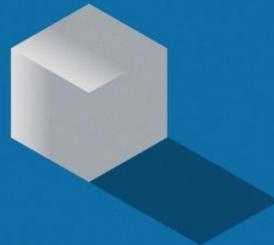
# 共英製鋼グループの 事業概要と成長戦略

共英製鋼株式会社  
2021.9

クリーンな  
未来をつくる。



電気炉で  
生まれ変わらせることで。



数々の使命を  
終えた鉄を。



# 本日の内容

1

当社グループのご紹介

2

当社グループの成長戦略

3

当社グループのESG

# 本日の内容

1

当社グループのご紹介

2

当社グループの成長戦略

3

当社グループのESG

# 会社概要

社 名 : 共英製鋼株式会社(KYOEI STEEL LTD.)

設 立 : 1947年8月21日

本社所在地 : 大阪市北区堂島浜1-4-16

代 表 者 : 代表取締役社長 廣富 靖以

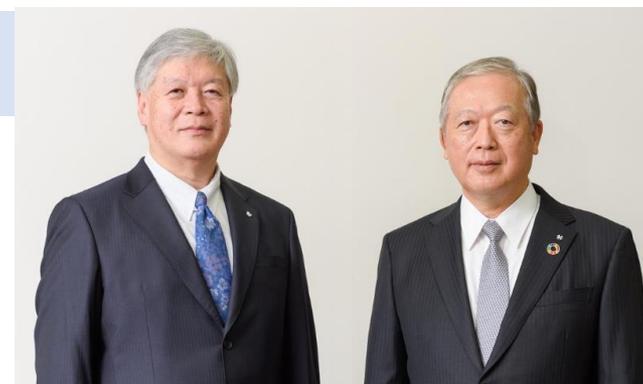
資 本 金 : 185億16百万円

連結売上高 : 2,264億円(2021年3月期)

連結従業員数 : 3,985名(2021年3月末)

発行済株式数 : 44,898,730株

信用格付 : A- (日本格付研究所)



会長・高島 秀一郎(左)、社長・廣富 靖以(右)

# 沿革：大阪の町工場から世界へ

- 1939 大阪市城東区にて共英鍛工所を設立
- 1947 共栄製鉄(翌年社名を「共英製鋼」に変更)を設立
- 1962 当社初の電炉工場を新設(大阪工場)
- 1964 台湾にて合弁事業(初の海外進出)
- 1982 住友金属工業(現・日本製鉄)と資本提携
- 1988 環境リサイクル事業を開始
- 1994 ベトナムにてビナ・キョウエイ・スチールを設立
- 2006 東証一部・大証一部に上場
- 2011 キョウエイ・スチール・ベトナムを設立
- 2016 米国の電炉工場を買収、ビントン・スチール設立
- 2018 ベトナムの港湾事業開始。ベトナム・イタリー・スチールを連結子会社化
- 2020 カナダのアルタ・スチールを買収



高島秀次  
初代社長



高島浩一  
元会長

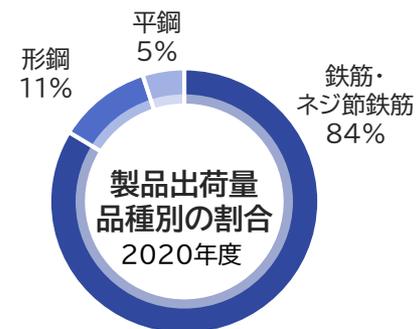
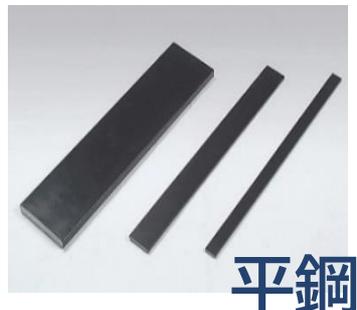
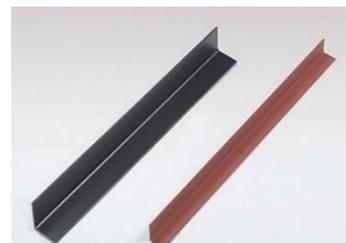


大阪工場(2016年閉鎖)



上場時の様子

# 当社グループの製品群



※国内生産分

# 身近にある当社の製品

● 日本 ● ベトナム ● 米国 ● カナダ



1 グランフロント大阪

大阪市



4 ノイバイ国際空港(ハノイ市)



5 ホーチミン都市鉄道(2021年完工)



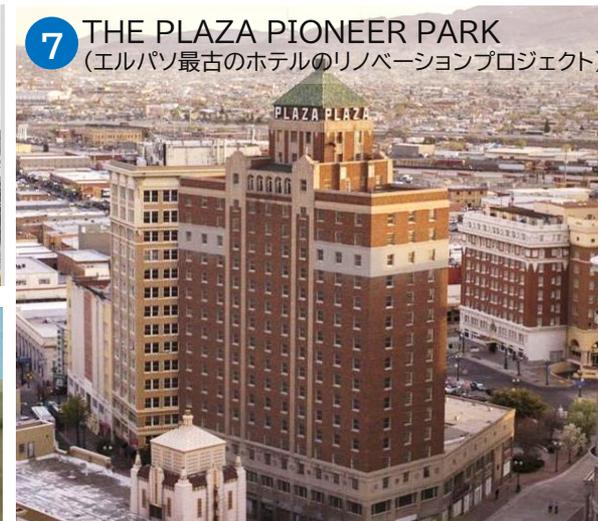
2 グレーチング(約70%が当社Iバー使用)



6 メトロポリタンビル(ホーチミン中心部)



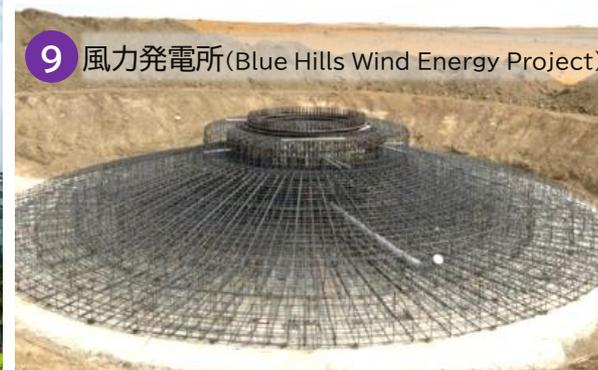
3 東海北陸自動車道 鷺見橋  
(橋脚高さ日本一)



7 THE PLAZA PIONEER PARK  
(エルパソ最古のホテルのリノベーションプロジェクト)



8 コロラド州デンバー高速道路(2021年完工)

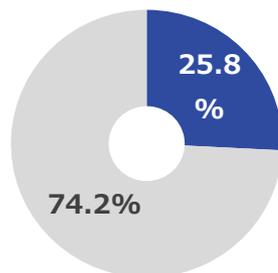


9 風力発電所(Blue Hills Wind Energy Project)

# 鉄をつくる2つの製造方法

	高炉・転炉法	電炉法
原料	鉄鉱石、原料炭	鉄スクラップ
製造工程	鉄鉱石をコークスにより溶解・還元	鉄スクラップを電気炉で溶解
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備が大規模</li> <li>・操業を一時休止した際の負担大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備が小規模</li> <li>・操業を容易に停止でき、 需要環境に対して柔軟に対応可能</li> <li>・CO<sub>2</sub>排出量は 高炉に比べて4分の1以下</li> </ul>

日本の電炉比率



(2020年度)



# 鉄製品ができるまで：電炉業は資源循環型事業

## 1. 鉄スクラップを回収

建物などで使われていた鉄筋や鉄骨、  
廃車などを業者から調達・保管



## 2. 電気炉で溶融

溶かして成分調整、炉内の温度は  
数千度にもなる



## 3. 延ばして冷却・結束

熱いうちに製品の形に成形し、注文された  
長さ・本数に束ねて出荷する



## 4. 社会インフラへ

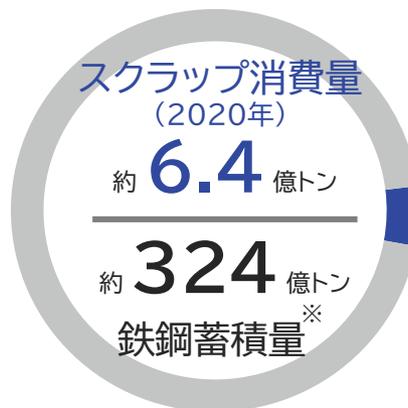
建物や道路、橋梁などに使用され  
暮らしの安全を支える

# 電炉の強み

## 1 サステナブルな製造方法

既に豊富に存在する鉄資源を  
鉄スクラップとして回収  
鉄鋼製品に再生し社会に循環させる

### 世界の鉄鋼蓄積量とスクラップ消費量



※1870年を起点とする2020年までの蓄積累計

出典: 鉄リサイクル工業会・国際ネットワーク委員会

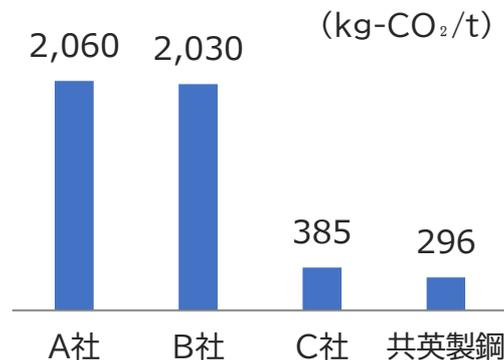
「日本と東アジア鉄スクラップ需給2020年の状況と21年の展望・高炉のCO<sub>2</sub>削減」

## 2 環境負荷が小さい

電炉法は鉄鉱石(酸化鉄)の  
炭素還元を必要としないため、  
環境負荷(CO<sub>2</sub>排出量)が  
相対的に低い

※ 高炉法による炭素還元は、CO<sub>2</sub>の発生は不可避。  
水素還元などの開発が進められているが、  
現時点では技術面・採算性に課題あり

### トン当たりCO<sub>2</sub>排出量 (2019年度)



※各社開示レポートに基づいて作成

### 〈参考〉

高炉法で1トンの鉄を生産した場合、  
発生するCO<sub>2</sub>は約2トン



# 当社グループの事業内容

## 国内鉄鋼事業

鉄鋼製品の製造・加工・販売



国内の主要需要地で事業を展開  
鉄筋コンクリート用棒鋼で国内  
シェアトップ

## 海外鉄鋼事業

ベトナム、米国、カナダに  
おける鉄鋼事業



世界3極体制で電炉事業を展開

## 環境リサイクル事業

電気炉による廃棄物溶融処理や  
フロンガス破壊処理など



医療廃棄物や産業廃棄物の鉄分  
を再利用。30年以上の歴史

## その他の事業

港湾事業、鋳物事業など

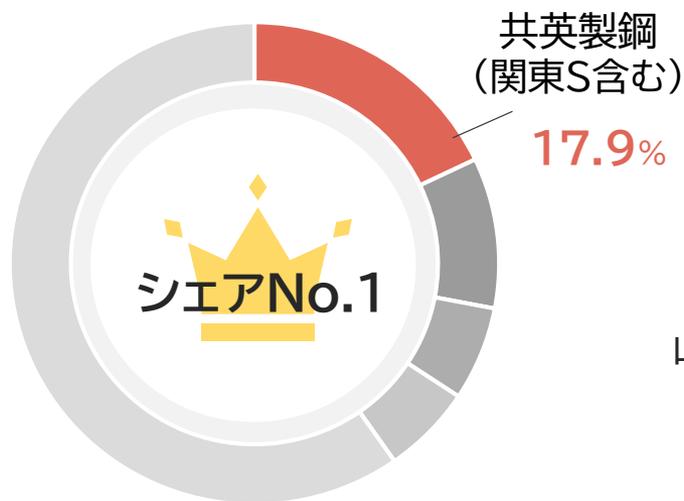


事業の裾野を広げるべく展開中

# 国内鉄鋼事業

- ◆ 鉄筋コンクリート用棒鋼(鉄筋)で **国内シェアトップ**
- ◆ 国内の**主要需要地(大都市圏)**で事業を展開
- ◆ 付加価値製品として、**ネジ節鉄筋、高強度鉄筋**を製造

国内小形棒鋼シェア(生産量)



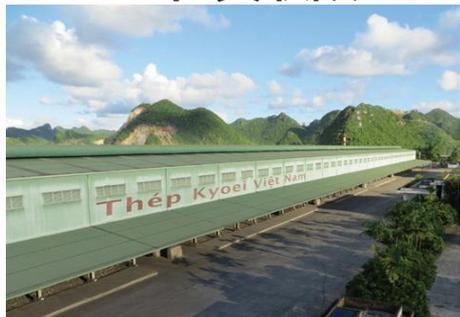
出典:日本鉄鋼連盟資料(2019年度)

国内の製造拠点



# 海外鉄鋼事業

2011年 買収設立



キョウエイ・スチール・ベトナム社  
(KSVC社)

2018年 買収



ベトナム・イタリー・スチール社  
(VIS社)

2020年 買収



アルタ・スチール社

1994年 設立



ビナ・キョウエイ・スチール社  
(VKS社)

ベトナム

カナダ

米国

2016年 買収



ビントン・スチール社

世界3極体制で  
電炉事業を展開  
(日本・ベトナム・北米)

# 環境リサイクル事業

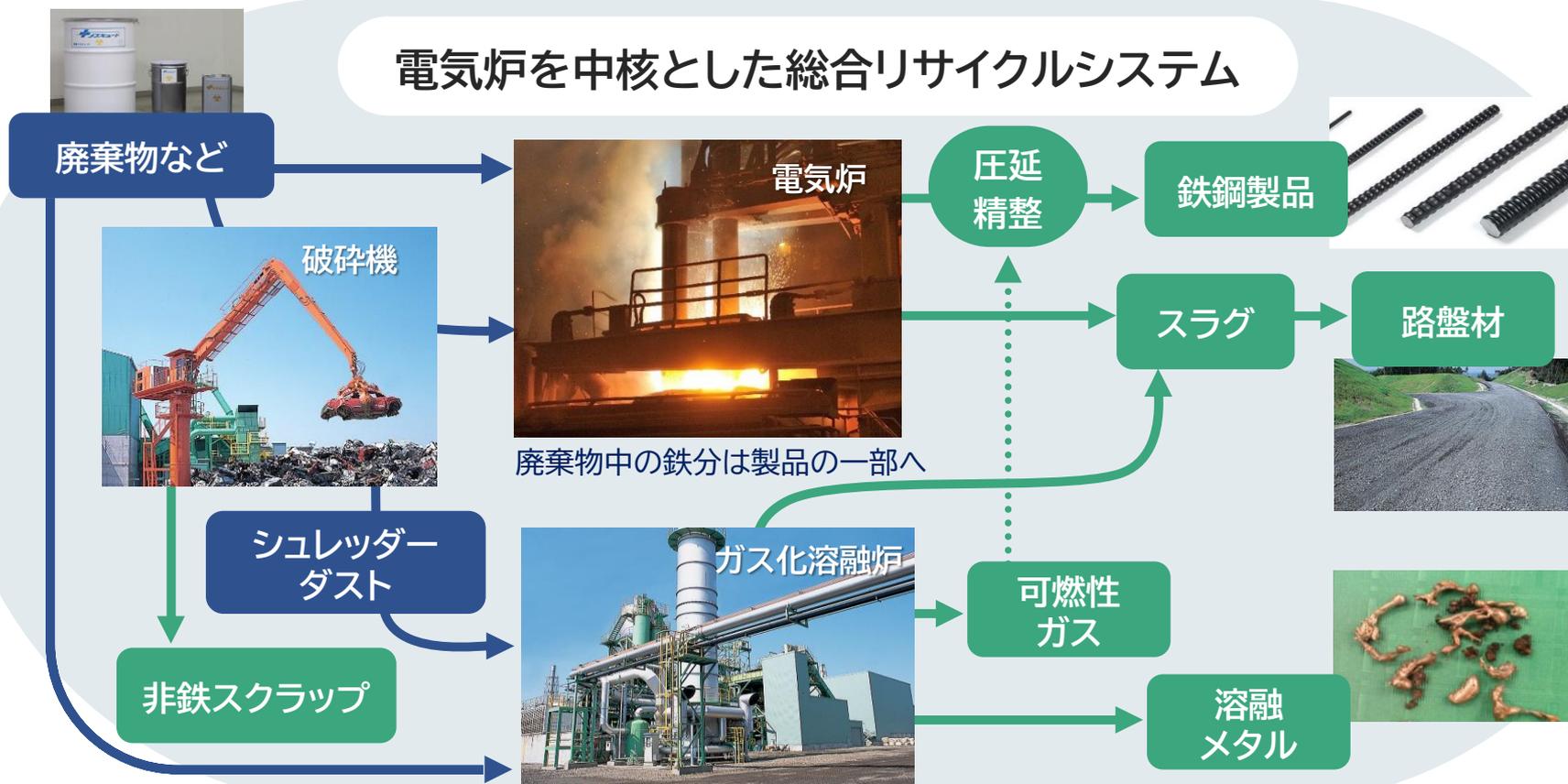
- ◆ 数千度のアーク熱を利用した安心・安全の廃棄物処理
- ◆ 1988年より事業として開始、30年以上の歴史

産業廃棄物の電炉処理実績  
(2020年度)



※各社開示数値に基づいて作成

## 電気炉を中核とした総合リサイクルシステム



# その他の事業（鉄鋼周辺事業）

## ベトナムにおける港湾事業

チー・バイ・インターナショナル・ポート社（TVP社）

- ベトナム南部・VKS社至近（約1.5km）において  
2018年1月 開港・操業開始
- 総面積40万㎡の国際一般港



港湾設備（荷揚げ作業）

## 鋳物事業

株式会社 吉年

- 創業300年の鋳物メーカー
- 当社製品の部材も製造



吉年の製品の一部  
左：ネジ節鉄筋継手 右：水道管部品

ビナ・ジャパン・エンジニアリング社（VJE社）

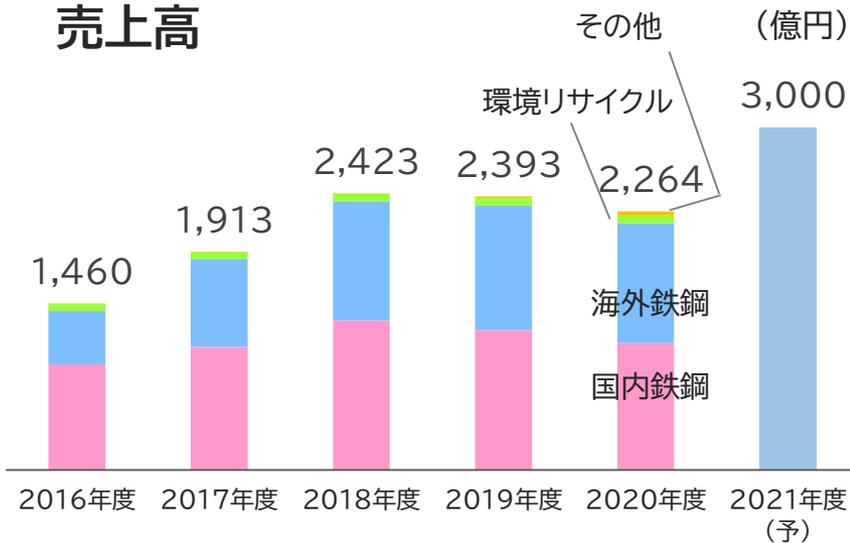
- ベトナムでトップブランドの鋳物メーカー



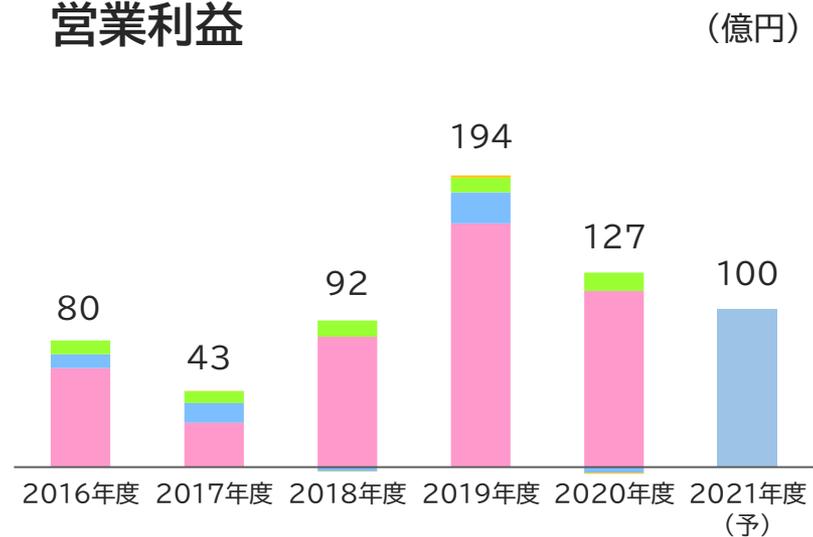
VJE社の製品の一部  
左：モーターケース 右：工作機械部品

# 業績の推移

## 売上高



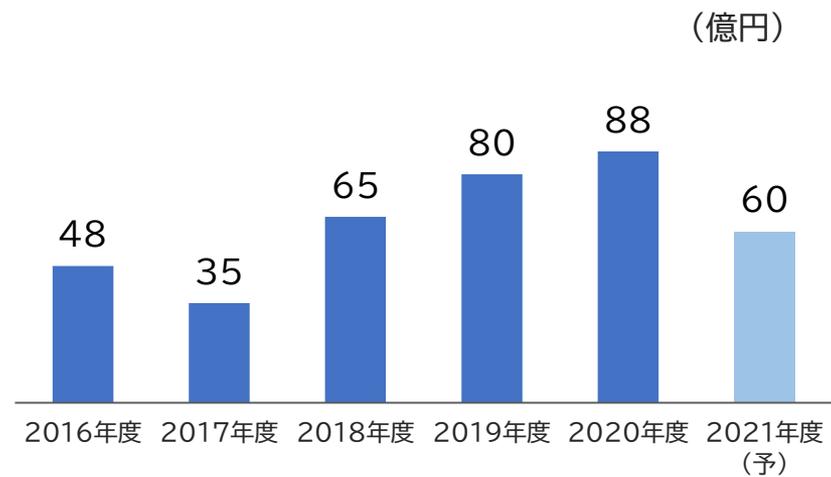
## 営業利益



## 経常利益

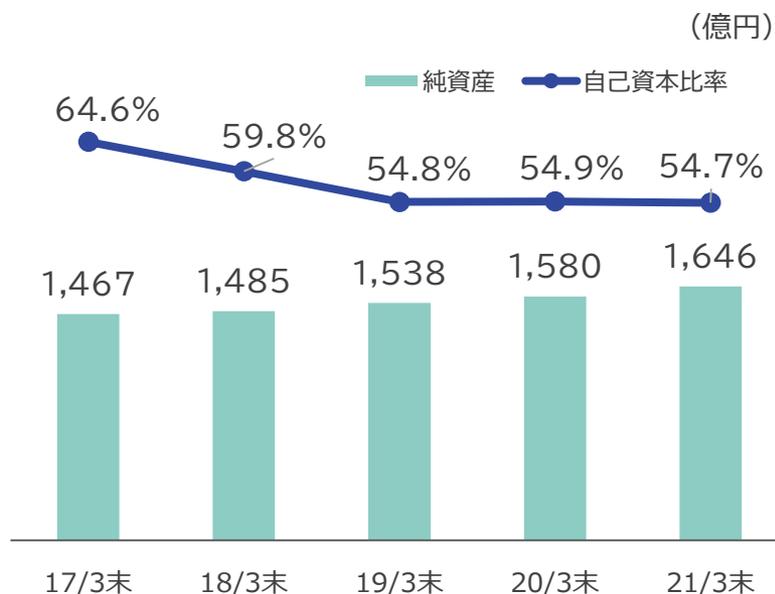


## 親会社株主に帰属する当期純利益

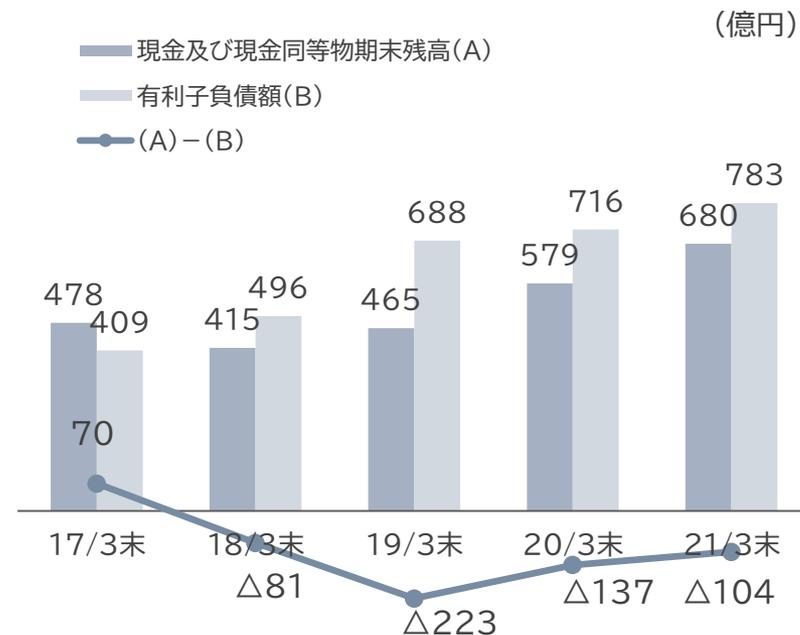


# 財務の状況

## 純資産・自己資本比率



## 現預金・有利子負債額



# 本日の内容

1

当社グループのご紹介

2

**当社グループの成長戦略**

3

当社グループのESG

## 共英製鋼グループをめぐる事業環境

1

国内の  
鉄鋼需要

2

世界の  
鉄鋼需要

3

カーボンニュートラル  
社会の到来

4

サーキュラー・  
エコノミー  
社会への流れ

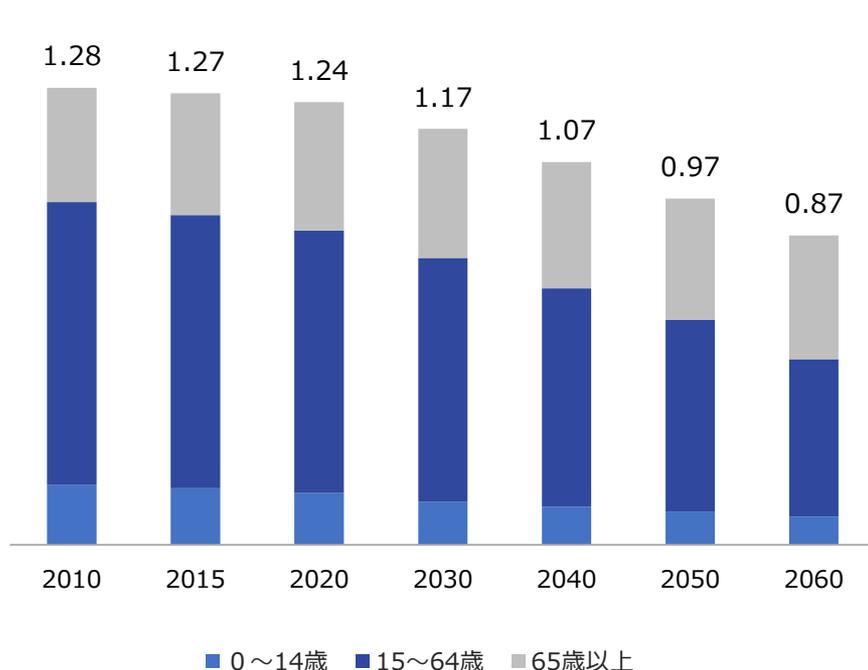
# 事業環境：①国内の鉄鋼需要

## 国内人口

日本の総人口は減少傾向にあり、2030年には1.17億人、2050年には1億人を割り込む。今後、建設需要の縮小は避けられない。

年齢区分別 将来人口推計

(億人)

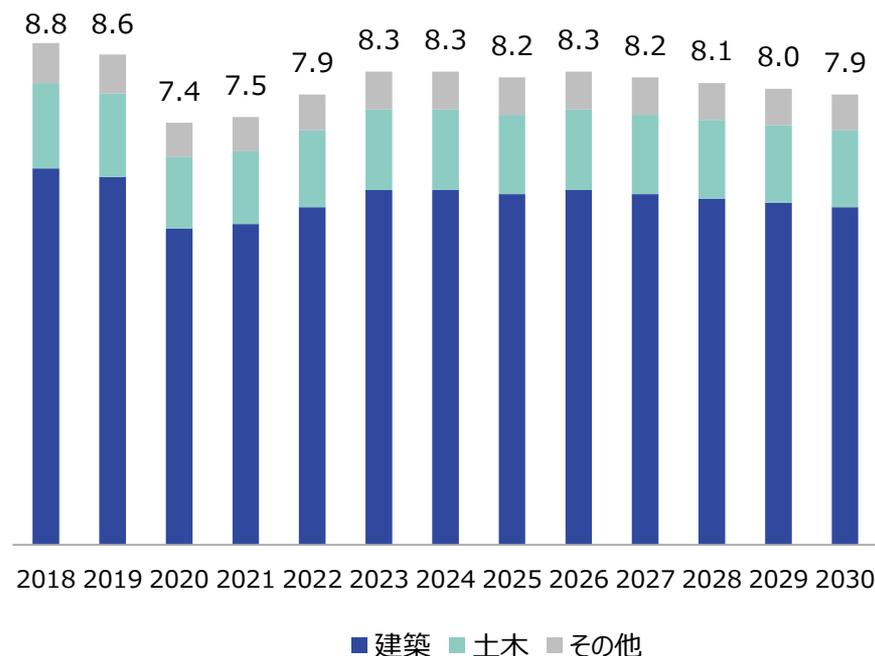


## 小形棒鋼需要

2023年度までコロナ禍の影響から回復する想定で微増、その後は長期的に漸減で推移。

小形棒鋼需要見通し

(百万トン)

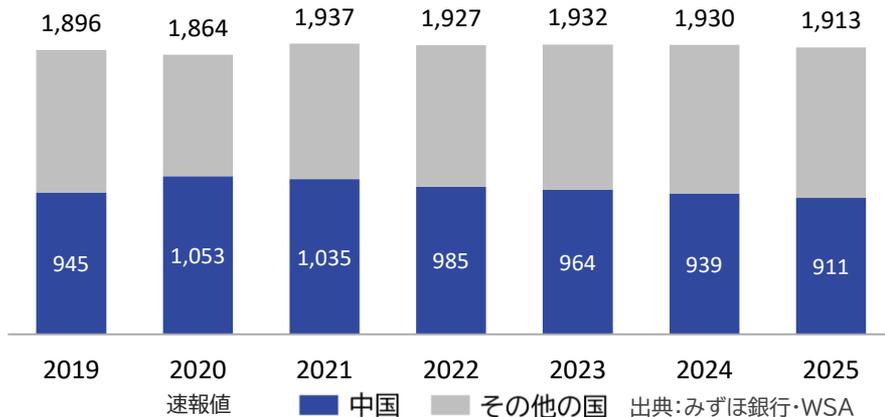


出典：内閣府

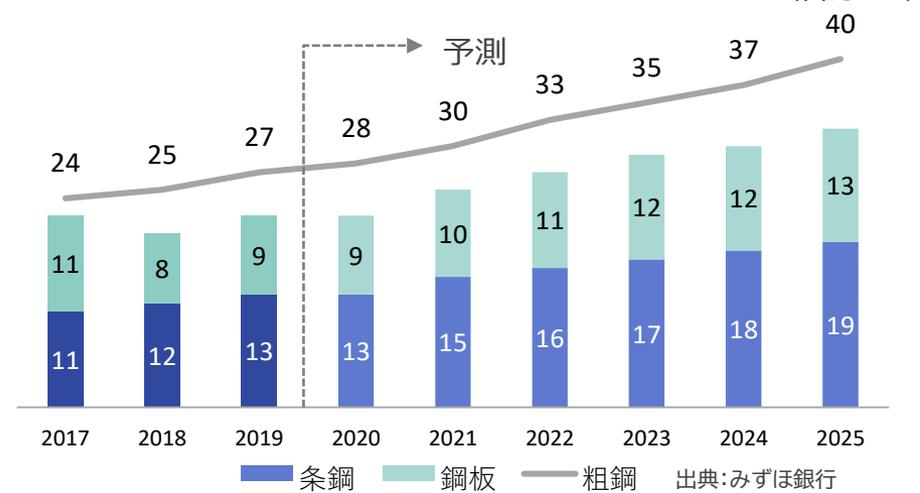
出典：みずほ銀行 20

# 事業環境：②海外の鉄鋼需要

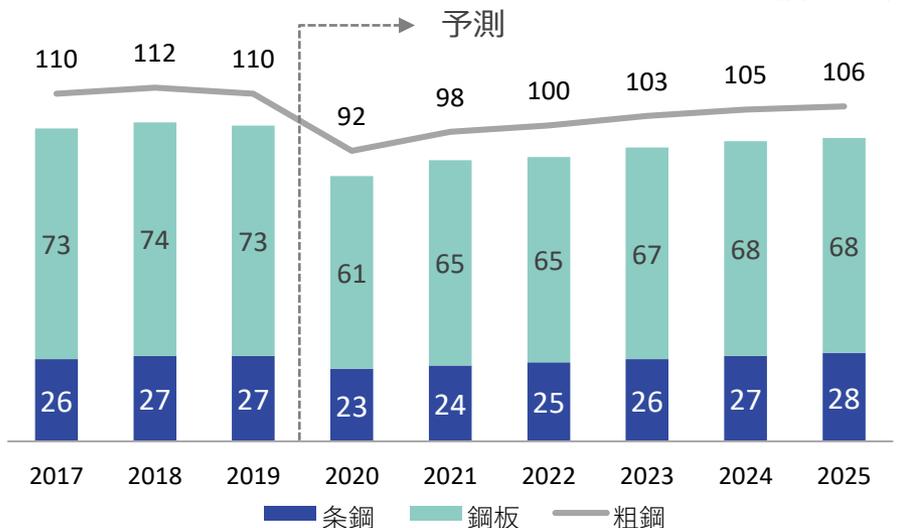
## 世界の鉄鋼需要 (百万トン)



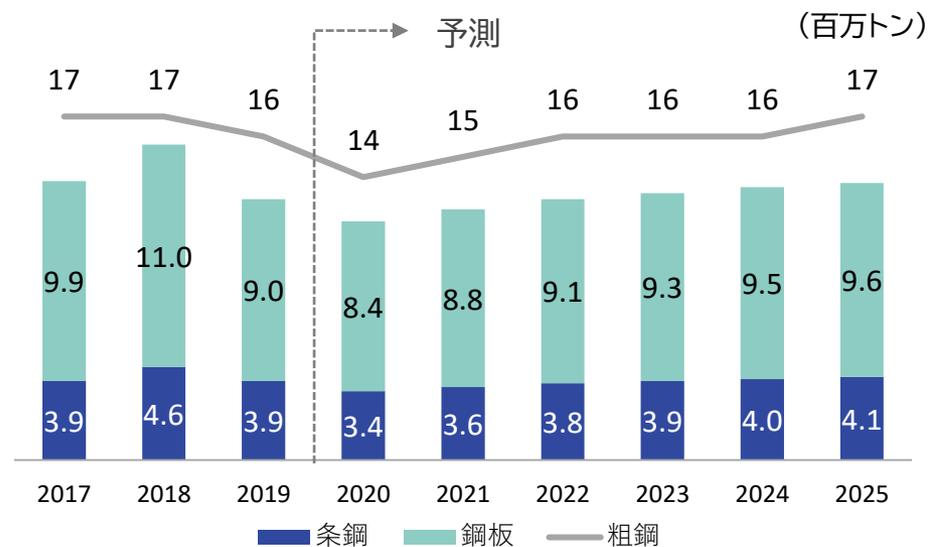
## バトナムの鉄鋼需要 (百万トン)



## アメリカの鉄鋼需要 (百万トン)



## カナダの鉄鋼需要 (百万トン)

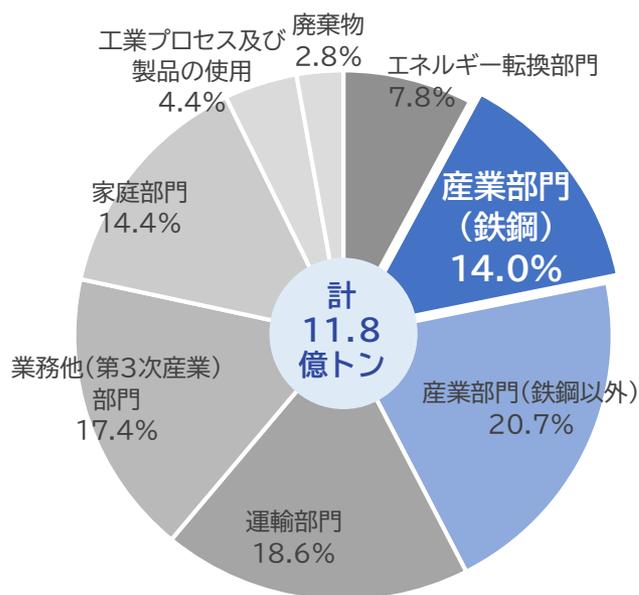


# 事業環境：③④社会の変化

③

## カーボンニュートラル社会の到来

鉄鋼業のCO<sub>2</sub>排出量は製造業最大  
⇒ 鉄鋼業界全体でのCO<sub>2</sub>排出量削減が必要



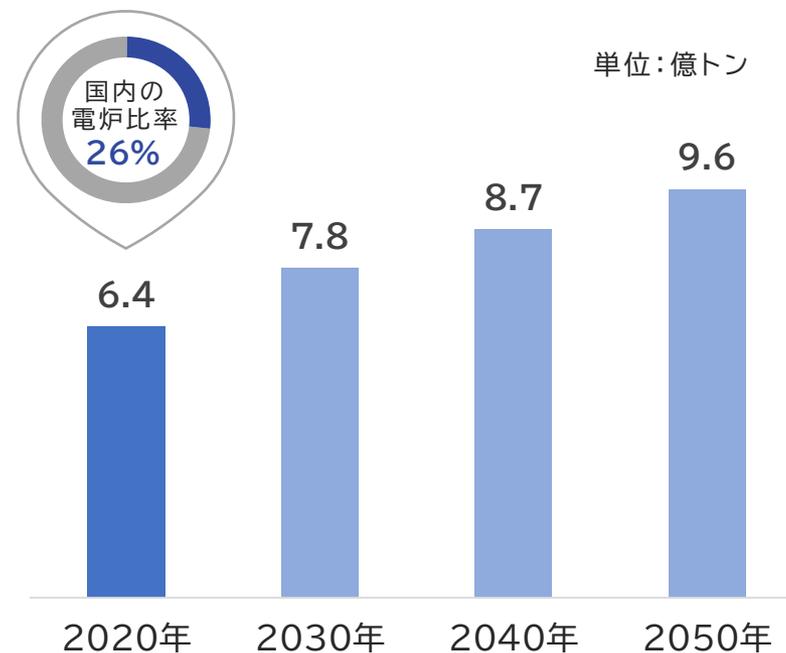
CO<sub>2</sub>排出量内訳(2019年度)

出典：環境省報道資料「2019年度(令和元年度)の温室効果ガス排出量確報値について」

④

## サーキュラー・エコノミー社会への流れ

世界の鉄スクラップ発生量は  
2020年対比で約50%増加



世界の鉄スクラップ発生量の予想

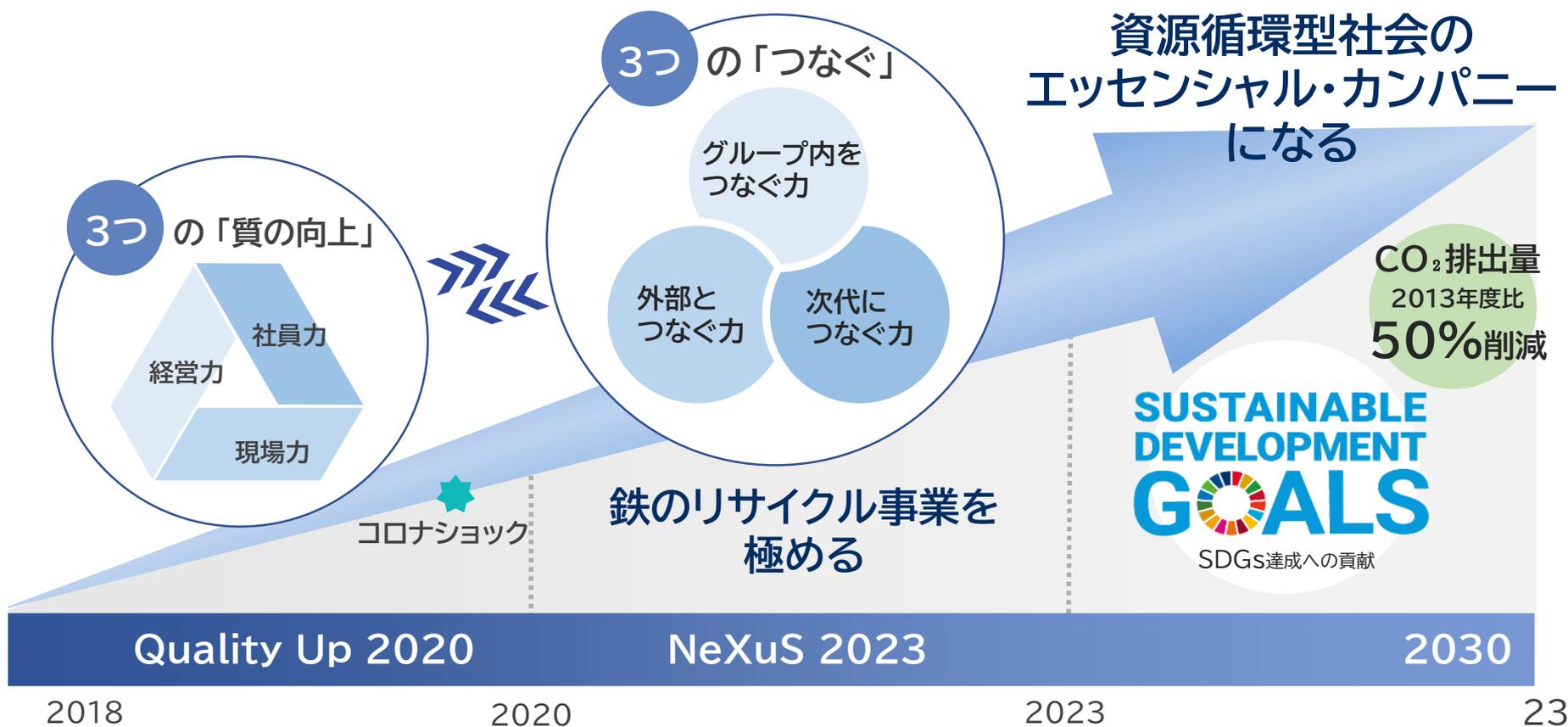
出典：日本鉄源協会「世界の鉄スクラップ需給動向」

# 2030年に向けた長期シナリオ

経営理念

## Spirit of Challenge

共英製鋼グループは 鉄鋼事業を中核とした資源循環型事業を通じて 社会と共生し 日本経済と地域社会の発展に貢献する企業集団を目指します



# 中期経営計画「NeXuS 2023」概要

## 2023年度 (最終年度) 達成目標

売上高: 2,900億円 / 経常利益: 180億円  
 出荷量: 400万トン (国内: 170万トン、海外: 230万トン)  
 ROS: 6%以上 (売上高経常利益率) / ROE: 7%以上  
 自己資本比率: 50%以上 / ネットDEレシオ: 0.25以下  
 配当性向: 30%程度 / 3年間の総投資額: 600億円

## 具体的施策

### 事業の成長に向けた取り組み

- ① 海外鉄鋼事業: 収益力強化/成長拡大の準備
- ② 国内鉄鋼事業: 競争力強化・将来を見据えた設備更新
- ③ 環境リサイクル事業・鉄鋼周辺事業: 収益機会の拡大

### ESGの取り組み・成長を支える基盤強化

- ④ カーボンニュートラル・資源循環型社会の実現に向けた取り組み
- ⑤ すべてのステークホルダーに貢献
- ⑥ 経営基盤の強化

# 「NeXuS 2023」コンセプト

## 中計の基本コンセプト



本業を強くする

鉄筋を中心とした建設用鋼材事業を強くする



地産地消ビジネスで  
リスクを分散する

日本だけでなく、世界で  
資源循環型事業を展開する



ウィングを拡げる

環境リサイクル事業や鋳物事業に加え、  
加工品事業も強化し、事業領域の幅を拡げる



地球環境と調和する

本業を通じて、持続可能な社会の実現に  
貢献できる「真の資源循環型企業」に進化する



本業を強くする

鉄筋を中心とした建設用鋼材事業を強くする

鉄筋トップメーカーとしての地位を維持、  
淘汰の時代を見据えて力をつける

顧客ニーズの  
多様化への対応



付加価値製品の拡販



集中討議の様子

営業業務のDX化

(受発注システムの  
大規模更新)

操業技術の高度化  
省力・省人化への  
積極的な投資



自動サンプリングロボット



全自動システム導入の倉庫

物流体制の  
効率化・強化



## 世界的な高炉の「電炉シフト」

…カーボンニュートラル達成に向け、高炉が環境負荷の小さい電炉へ製造を切り替える動きのこと

### 〈考えられる影響〉

1. 高級鋼の原料である高品位スクラップの需要が高まり、価格高騰？
2. 電炉シフトした高炉と製造する製品がバッティングし、競争激化？

### 〈当社グループの方針:鉄のリサイクル事業を極める〉

1. 老廃(低品位)スクラップの再生に注力  
高品位スクラップの価格変動の影響を受けにくい
2. 建設用基礎資材に特化  
高炉品とバッティングしない製品を製造する

## 今後の鉄スクラップのイメージ

### 高品位

工場発生屑など  
(不純物少)



「電炉シフト」で  
市況は過熱？



社会活動とともに  
今後も増え続ける

ビル解体屑など  
(不純物多)

### 低品位

電炉は、高炉と違い、成分がはっきりとわからない鉄スクラップを原料にしています。原料の配合などがうまくいったときの達成感は、非常に大きいです。



製鋼部員



地産地消ビジネスで  
リスクを分散する

日本だけでなく、世界で  
資源循環型事業を展開する

既存拠点の課題を克服し、安定的に利益を  
計上できる体制を構築する

ベトナム

競争環境厳しいが成長市場

シェア拡大とコスト競争力で  
勝ち残り

北米

米国・カナダとも人口は増加傾向  
鉄筋需要は堅調に推移

鉄筋事業の強化

グループ内の連携強化



ベトナム拠点の合同会議

柔軟な価格政策の展開



設備の改善



結束機を導入  
(ビントンスチール)



## ウィングを広げる

環境リサイクル事業や鋳物事業に加え、加工品事業も強化し、事業領域の幅を広げる

### 環境リサイクル事業

- ・ 難処理廃棄物処理の強化
  - 処理ニーズの高まりが予想される車載リチウムイオン電池や炭素繊維、アスベストなど



車載リチウムイオン電池



炭素繊維



アスベスト

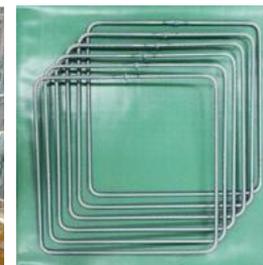
- ・ 廃棄物処理能力の拡大
  - 環境に配慮した廃棄物処理施設の建設や他社との資本提携など

### 鉄鋼周辺事業

- ・ 新規事業推進室の設置による加工品事業の強化（高強度せん断補強筋など）
- ・ 新規事業への取り組み強化（事業シーズの探索）



従来よりも施工現場の工数を削減できる



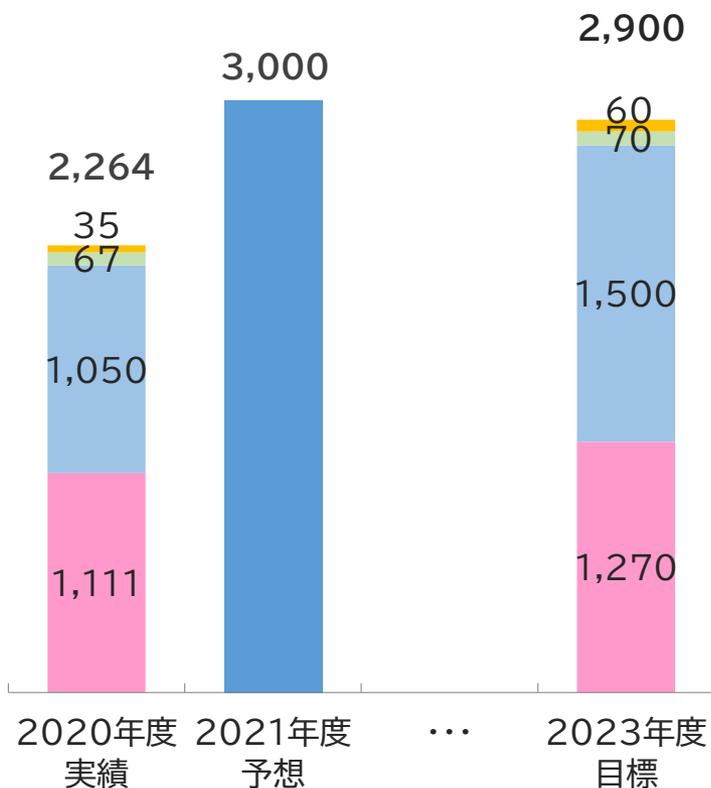
▲高強度せん断補強筋「キョウエイリング685」（2021年4月発売）

# 定量目標：セグメント別 売上高・営業利益

今中計期間で海外鉄鋼事業の収益化を図る

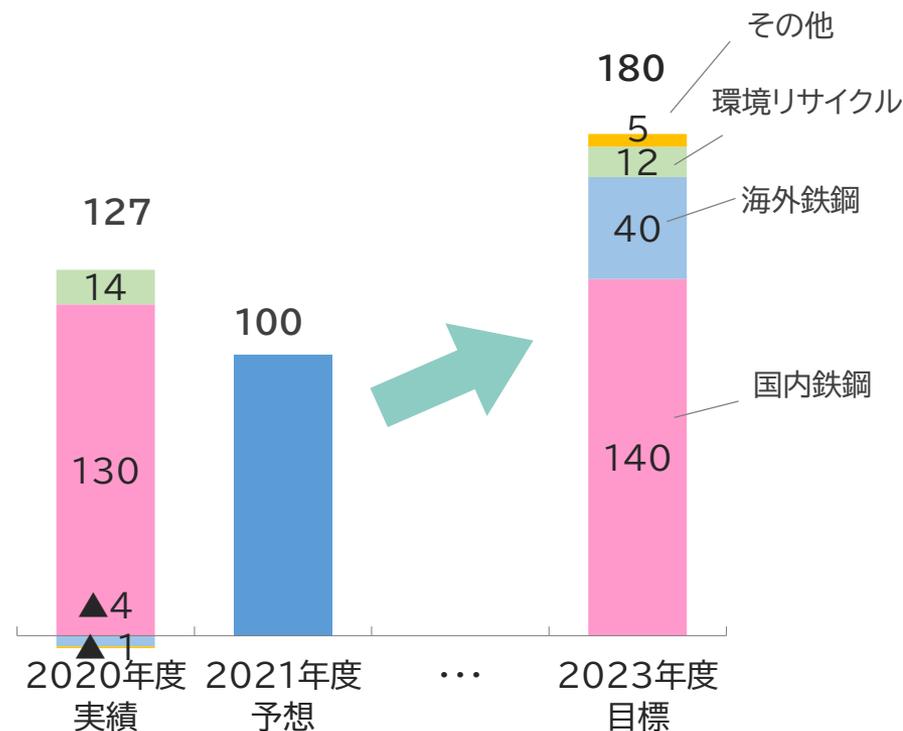
## 売上高

(億円)



## 営業利益

(億円)

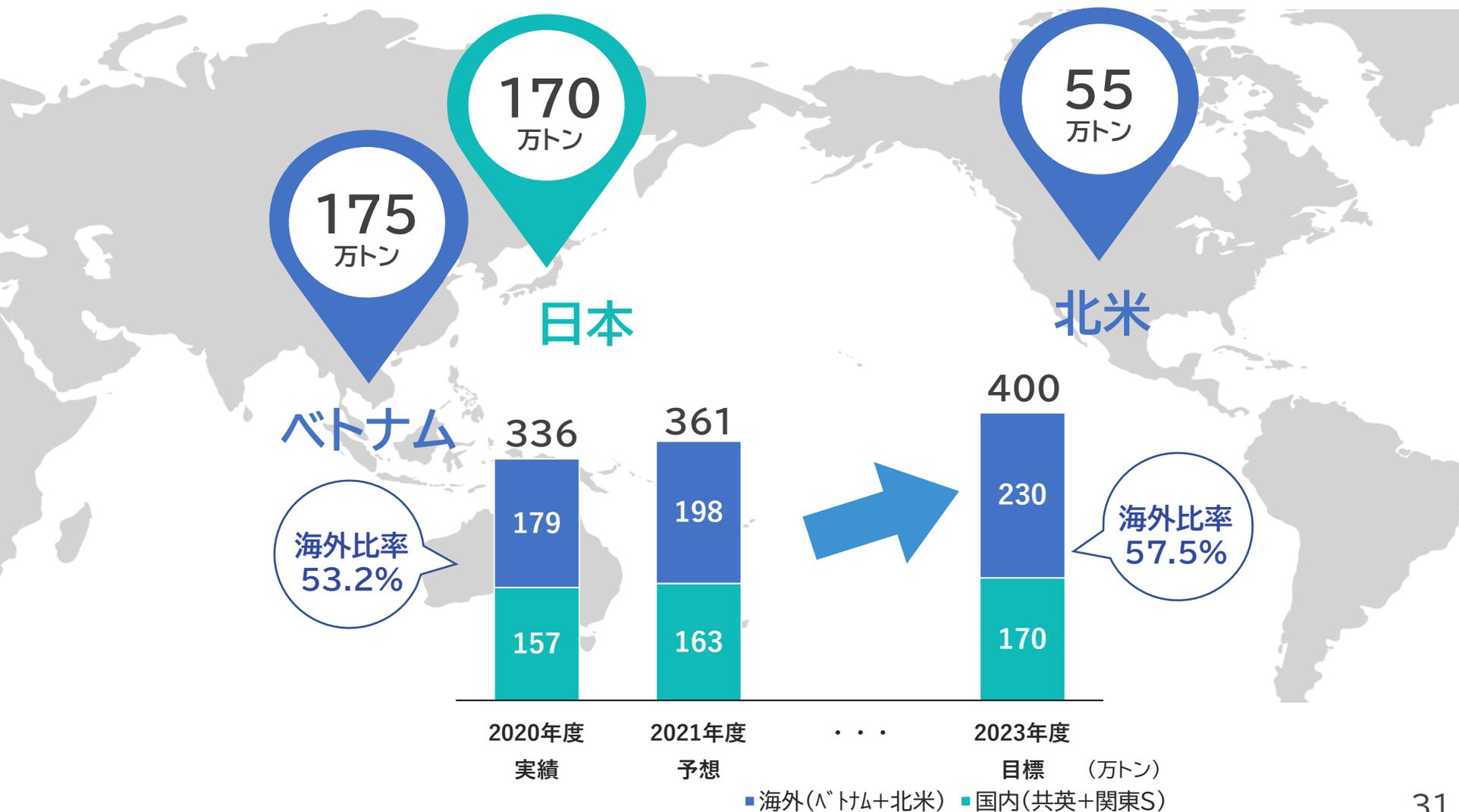


※ 売上高は7月30日に期初予想の2,600億円より上方修正

※ 各セグメントの営業利益合計との差異は持分法損益及び連結修正

# 定量目標：セグメント別 出荷量

- 2023年度 グループ全体の出荷量 合計400万トン



# 本日の内容

1

当社グループのご紹介

2

当社グループの成長戦略

3

**当社グループのESG**

# 当社の歴史と事業にかける思い

『人・企業・社会・自然』のバランスを保ち、地球の未来に貢献する企業へ

“世界に対して日本の  
本当の姿を見せたい”



1947年

創業

海外進出

1964年

1967年

公害  
対策



医療廃棄物の完全無害化  
溶融処理システム

“注射針の不法投棄問題を  
電気炉で解決できないか”

1988年

環境事業  
開始

1994年

ベトナム  
進出



メスキュード  
医療安全基金  
第1回贈呈式  
(2003年)

2002年

メスキュード  
医療安全  
基金設立

2020年

マテリアリ  
ティ  
特定

“鉄づくりを通じて日本の  
復興に貢献したい”



業界に先駆けて  
大型集塵機を導入

“地球環境との共生”

“ベトナムの国土復興の  
一助となろう”



ビナ・キョウエイ・スチール社  
調印式(1993)



“エッセンシャル  
カンパニーになる”

# マテリアリティ(重要課題)

事業を通じて 持続可能な社会の実現に貢献するために  
 当社グループのマテリアリティ(重要課題)を定めました



SUSTAINABLE  
 DEVELOPMENT  
 GOALS



# 快適で安全な社会のために

## マテリアリティ



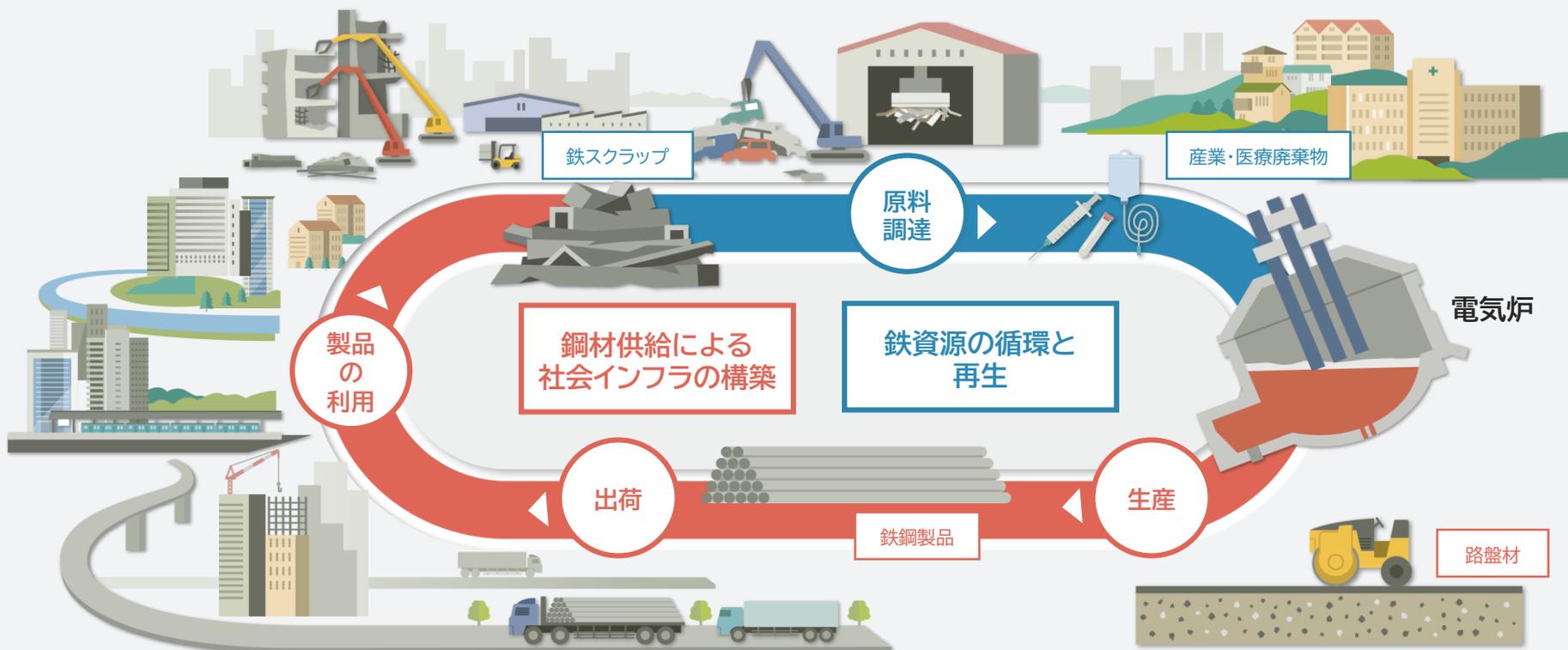
人々の暮らしの中で役割を終えた様々な資源のリサイクルを通じて、地球環境保全に貢献し世界のインフラを支えます。

## 関連性の高いSDGs

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



13 気候変動に具体的な対策を



# 美しい地球環境に向けて

## マテリアリティ



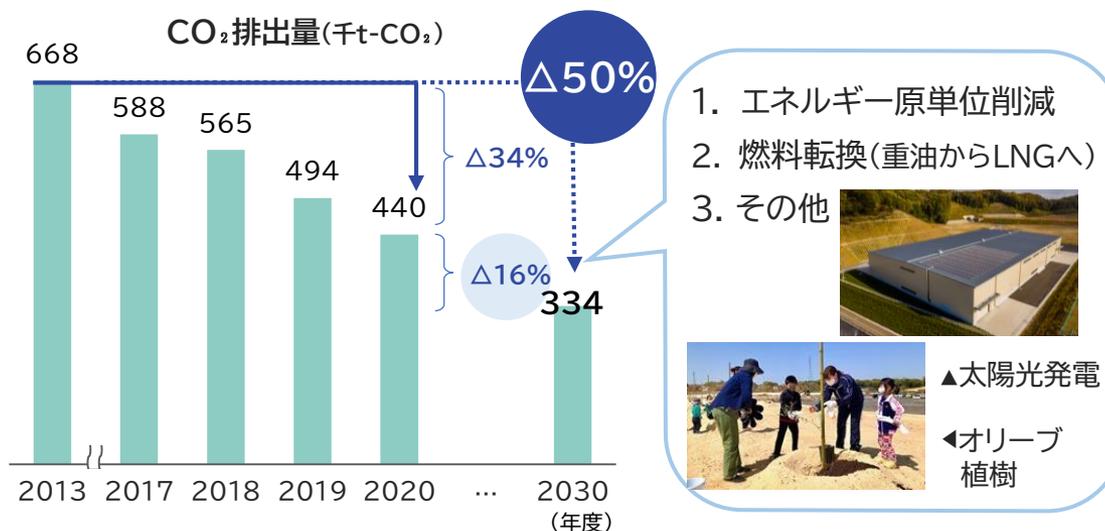
当社グループが発生させる地球温暖化効果ガスや副産物を削減するだけでなく、社会で発生する様々な廃棄物をリサイクルすることで、環境負荷の少ない社会の実現に貢献します。

## 関連性の高いSDGs



### ① CO<sub>2</sub>排出量の中長期目標を策定

2030年度に2013年度対比で50%削減  
2050年度にカーボンニュートラル達成を目指す



### ② TCFD提言に賛同表明

気候変動問題への対応を重要な経営課題の一つと位置付け、4月にTCFD提言への賛同を表明

※TCFD  
…気候関連財務情報開示タスクフォース

### ③ ゼロエミッション

副産物(スラグ)の有効活用などの取り組みを推進

# 価値創造をともにする皆様の期待に応えるために

## マテリアリティ

## 関連性の高いSDGs



お客様や取引先からの様々な期待と要請に応える製品・サービスを提供することや、環境負荷の低い原料・資材を調達することで、バリューチェーンを通じた社会への貢献を目指します。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

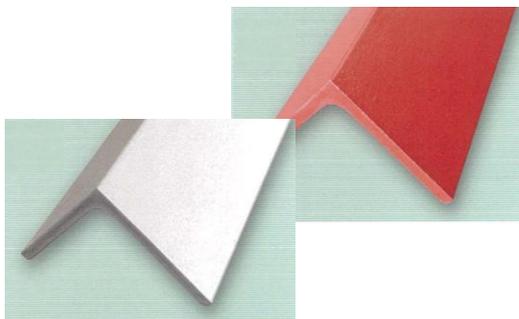


12 つくる責任 つかう責任



### 人と環境にやさしい製品

水性塗料を用いた製品などを開発・販売



カラーアングル ECO74



### 技術力の強化

情報共有による速やかな技術改善



海外拠点も交えて開催する自主管理活動発表会



### 環境負荷開示

製品のライフサイクル全体を考えた環境情報を定量的に開示する「環境製品宣言 (EPD)」認証制度



「エコリーフ」環境ラベル

# より安全で働きやすい職場に向けて

## マテリアリティ



労働災害の撲滅や職場環境の整備、多様な人材の登用、柔軟な働き方の採用を通じて、安全で働きやすい魅力的な職場を実現します。

## 関連性の高いSDGs



### 夜間操業の是正

- ・電炉特有の土日や夜間に特化した稼働体制の見直し



### ダイバーシティ

- ・女性用厚生設備の拡充
- ・多様な人材の採用
- ・教育・研修制度の充実

中計目標(2023年度)  
女性総合職比率 11%

### 労働災害撲滅

- ・中央安全衛生委員会
- ・VR(仮想現実)を活用した安全教育
- ・自主管理活動の充実

中計目標(2023年度)  
労働災害ゼロ



### 誰もが働きやすい 職場づくり

- ・厚生棟の改修
- ・テレワーク環境の整備
- ・健康経営の推進

# 社会の一員として貢献するために

## マテリアリティ

## 関連性の高いSDGs



様々な地域活動や防災活動など地域への貢献を通じて、当社グループが地域になくてはならない存在となることを目指します。

11 住み続けられるまちづくりを



### ■ メスキュード医療安全基金

2002年より毎年 全国の医療関係団体へ寄付

### ■ 寄付活動・地域貢献活動

災害義援金や地域社会貢献基金、コロナ関連の支援活動  
地元行事への協賛 など

### ■ 防災活動

津波避難ビル建設(名古屋事業所 開発センター)  
防災訓練など

### ■ 障がい者雇用の創出

小型家電リサイクル作業場「リサイクル工房 にじいろ」(山口)  
2020年12月より開所



開発センター(兼 津波避難ビル)



「リサイクル工房 にじいろ」作業風景

中計目標(2023年度)  
寄付総額 当期純利益(単体)0.5%

# より公正で誠実な企業活動に向けて

## マテリアリティ



経営環境の変化に迅速に対応できる組織体制と透明性の高い経営システムを構築し、公正で誠実な企業活動を実践することで社会から信頼される存在を目指します。

## 関連性の高いSDGs

16 平和と公正をすべての人に

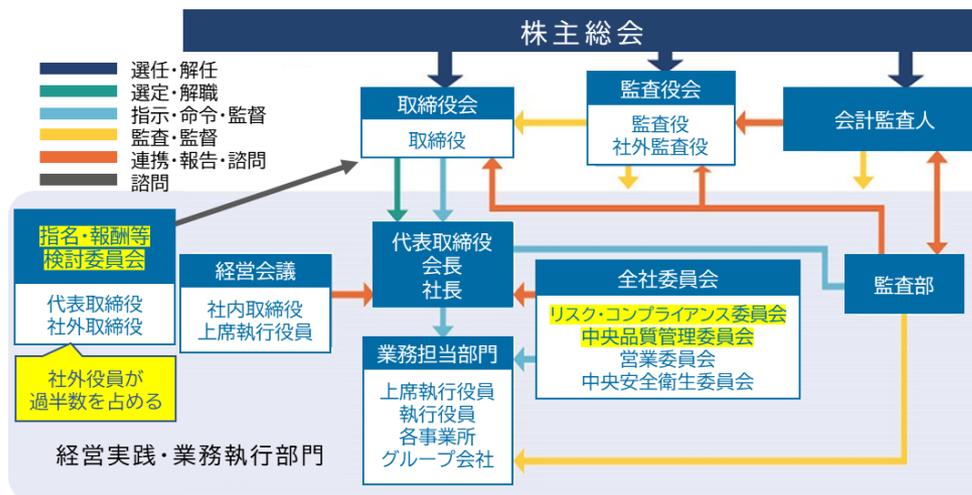


### 取締役会の機能発揮を目指して

(取締役の社外比率のアップと多様なキャリア・スキルの強化を目指す)

- 取締役10名中4名が社外取締役  
(2021年6月に女性社外取締役を1名増員)
- 指名・報酬等検討委員会の構成員の過半数が独立社外取締役
- 取締役のスキルマトリックス開示

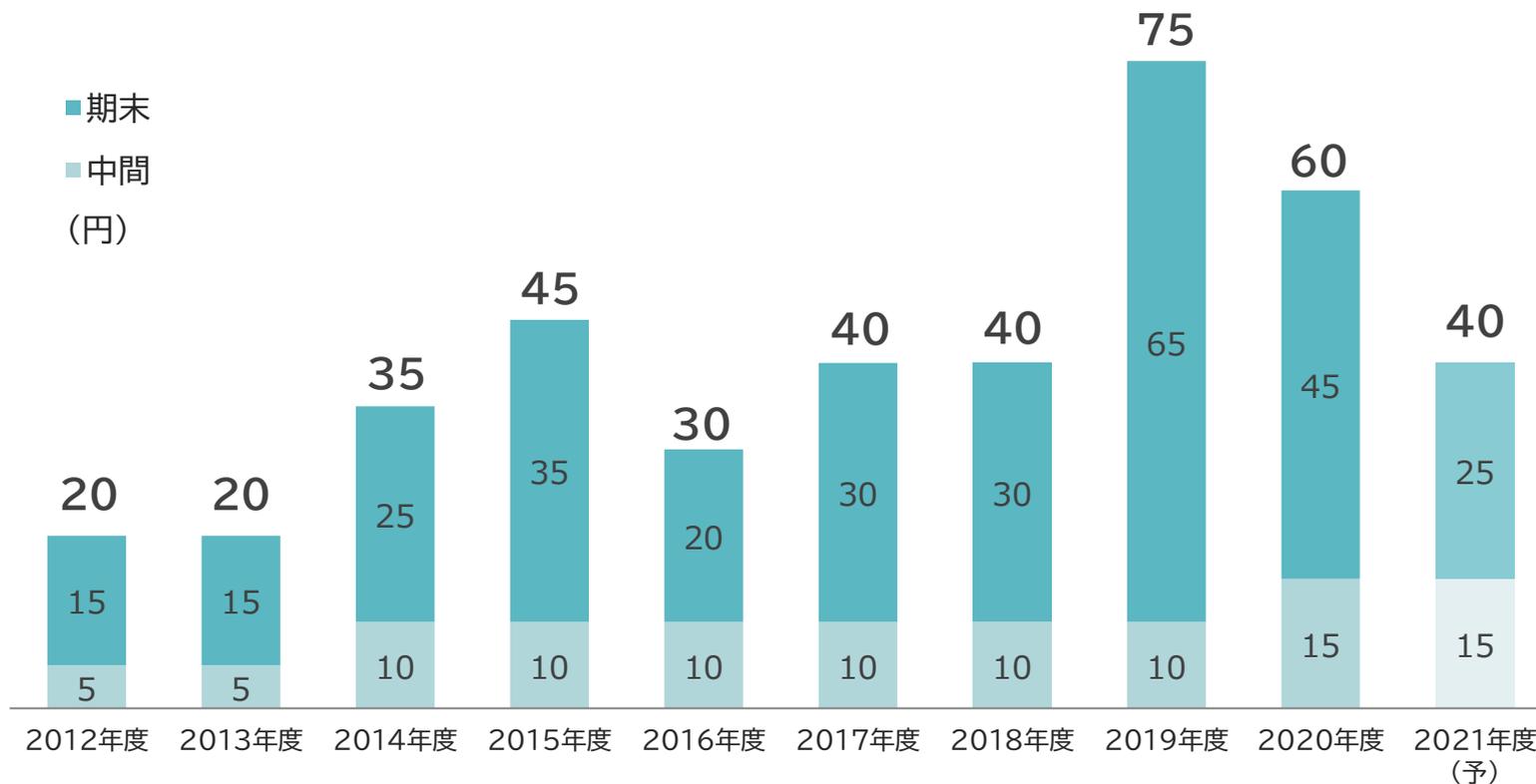
10名中4名が社外役員



# 株主還元

## 配当方針

- ・ 企業価値向上に向けた内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続
- ・ 配当性向(連結)25～30%程度を目処に、1株あたり年間30円以上を配当



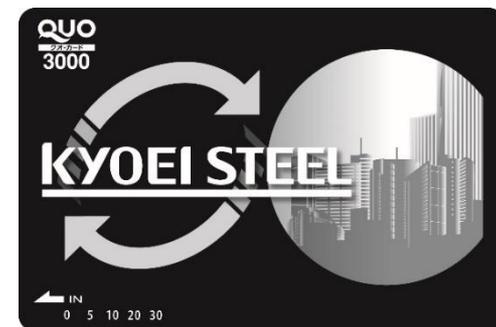
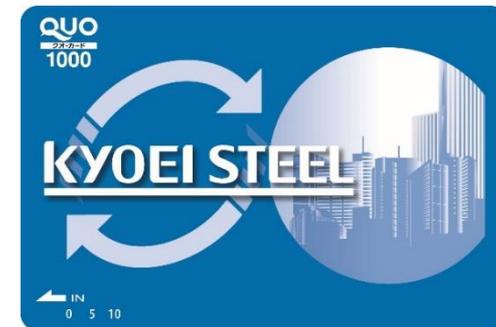
配当性向 (%)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度(予)
配当性向 (%)	42.0	-	22.0	23.1	27.2	49.8	26.7	40.9	29.7	29.0

# 株主優待

## 優待品:オリジナルQUOカード

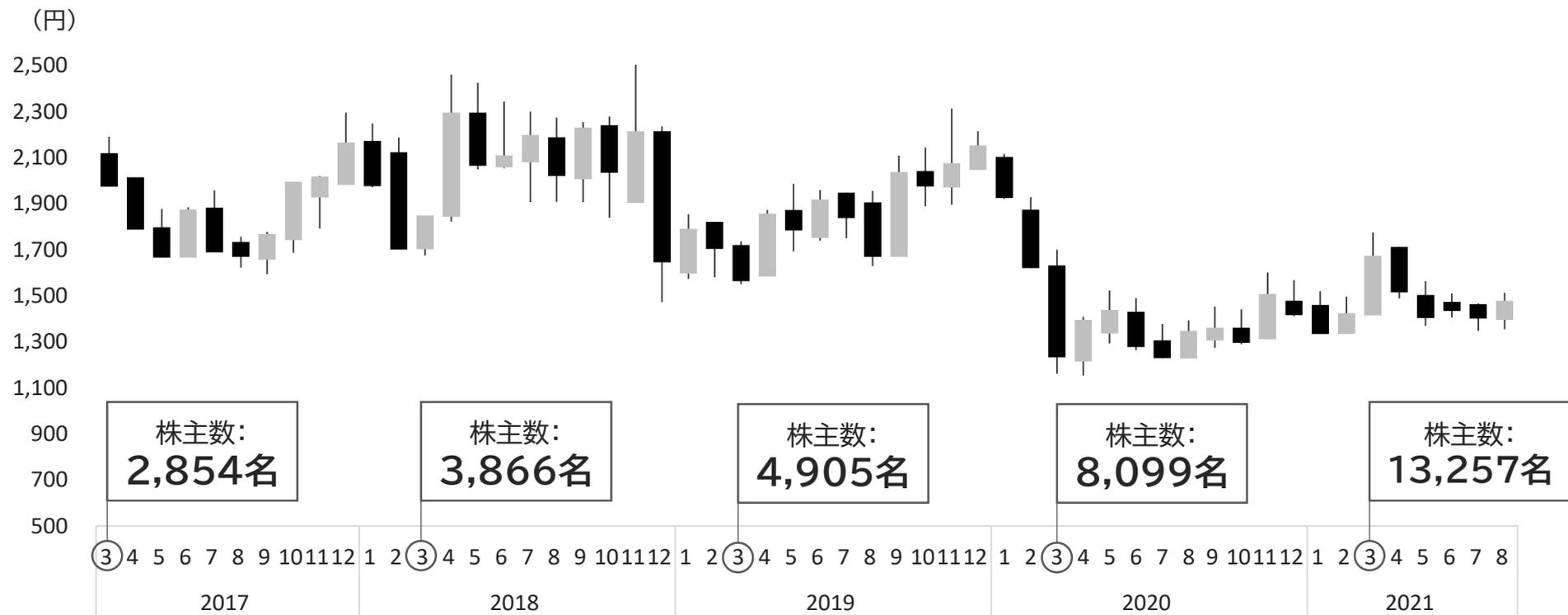
### ご優待内容

保有株式数	継続保有期間	
	1年未満	1年以上
100株以上1,000株未満	1,000円分	2,000円分
1,000株以上	2,000円分	3,000円分



継続保有期間1年の認定は、毎年3月31日を基準日として、前年の3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で連続して3回以上記載または記録されていることを条件とします。

# 株価の推移



株価(9/17終値)	単元株	2022年3月期 1株あたり年間配当予想	配当利回り	PBR
1,454円	100株	40円	2.7%	0.40倍

# NeXuS

## ▶▶ Next Success

### 次代の成功を目指して

これまでの「鉄づくりを通じて社会に貢献する」企業から、  
これからの「サーキュラー・エコノミー社会」の中で  
資源循環型事業を通じ、社会の発展と地球環境との調和に貢献する  
“エッセンシャル・カンパニー”を目指します

# ご清聴ありがとうございました

## 免責事項

- 本資料は、当社の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の責任・判断のもとになされますようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている情報には、当社に関する将来予測や業績予想が記述されていますが、これらは潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。業績結果が経営環境の変化などによって、見通しと異なったものになる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料に掲載されている情報の掲載中止や変更を予告なく行うことがありますので、ご承知おきください。
- これらの情報を利用することで生じたいかなる損失や損害に対しても、当社は一切責任を負うものではありません。



IRメール配信サービスを  
開始しました！

<https://www.kyoeisteel.co.jp/ja/ir/mail.html>

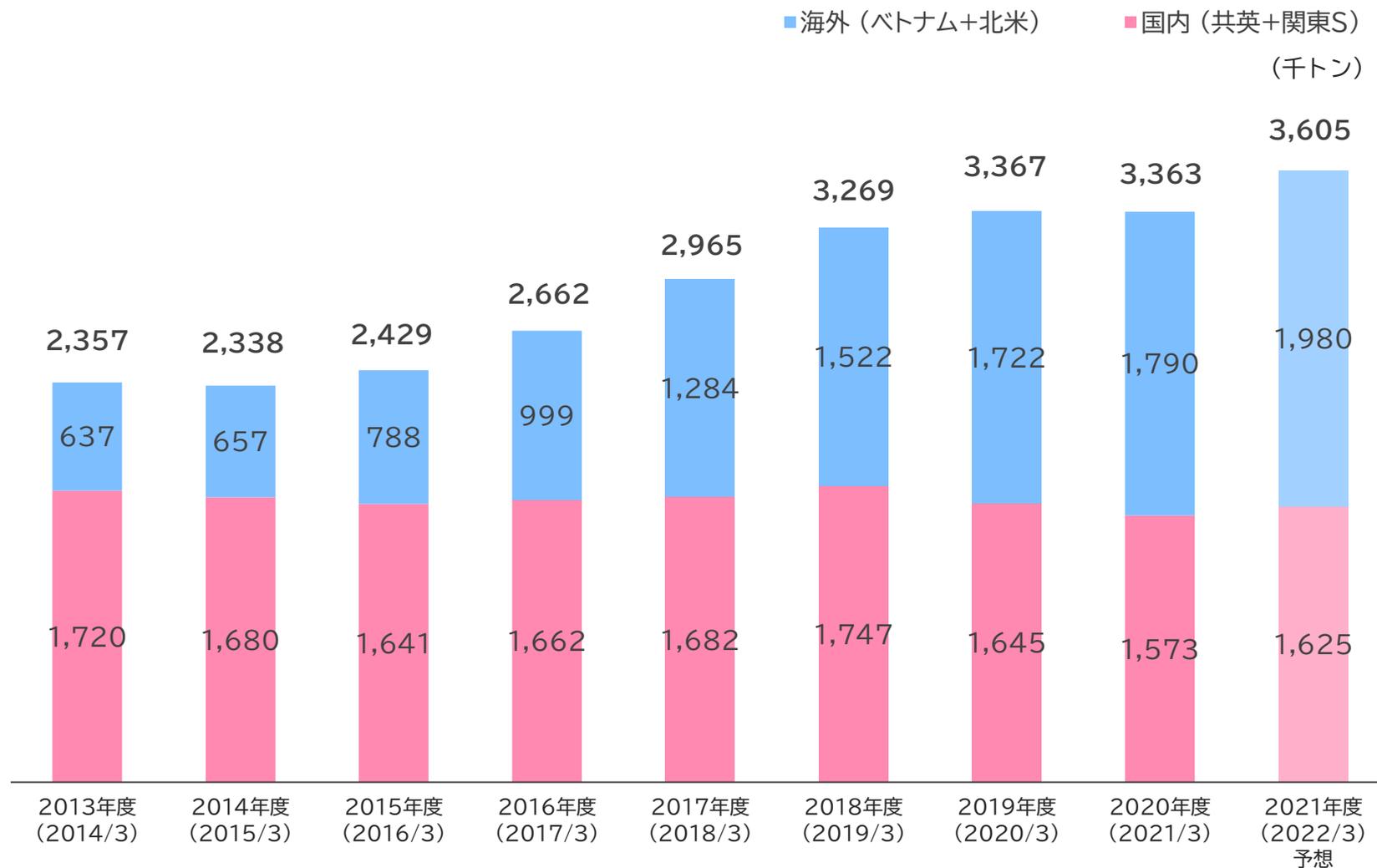


お問合せ先：  
共英製鋼株式会社 経営企画部 IR課

電話番号：  
06-6346-5222

ホームページ：  
<https://www.kyoeisteel.co.jp/ja/index.html>

# 参考：製品出荷量推移



# 参考：業績の推移

	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期 <sup>※</sup>	2021/3期
売上高	160,952	145,991	191,254	242,257	239,343	226,371
国内鉄鋼事業	107,642	92,525	107,831	131,252	122,533	111,138
海外鉄鋼事業	46,035	46,648	76,866	103,879	109,063	104,985
環境リサイクル事業	6,956	6,504	6,237	6,683	6,466	6,705
その他事業	319	314	321	443	1,282	3,543
営業利益	13,792	7,971	4,259	9,200	19,404	12,656
国内鉄鋼事業	12,507	7,317	3,292	9,644	18,008	13,012
海外鉄鋼事業	744	1,031	1,456	△291	2,284	△428
環境リサイクル事業	1,389	1,006	866	1,190	1,089	1,356
その他事業	20	△10	25	△40	153	△57
消去	△869	△1,373	△1,379	△1,303	△2,131	△1,227
経常利益	14,161	7,935	4,085	8,646	18,954	12,935
親会社株主に帰属する当期純利益	8,467	4,783	3,483	6,505	7,978	8,788

	(円)					
1株当たり当期純利益	194.94	110.41	80.31	149.78	183.56	202.22
1株当たり純資産	3,115.86	3,192.02	3,225.85	3,299.82	3,397.93	3,553.45
1株当たり配当金	45.0	30.0	40.0	40.0	75.0	60.0
配当性向(%)	23.1	27.2	49.8	26.7	40.9	29.7

※2021/3期において企業統合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期の関連する数値にはこれに伴う見直しが反映されています

# 参考：共英製鋼グループのマテリアリティ

## マテリアリティ(重要課題)



### 快適で安全な社会のために

人々の暮らしの中で役割を終えた様々な資源のリサイクルを通じて、地球環境保全に貢献し世界のインフラを支えます。



### 美しい地球環境に向けて

当社グループが発生させる地球温暖化効果ガスや副産物を削減するだけでなく、社会で発生する様々な廃棄物をリサイクルすることで、環境負荷の少ない社会の実現に貢献します。



### 価値創造をともにする皆様の期待に応えるために

お客様や取引先からの様々な期待と要請に応える製品・サービスを提供することや、環境負荷の低い原料・資材を調達することで、バリューチェーンを通じた社会への貢献を目指します。



### より安全で働きやすい職場に向けて

労働災害の撲滅や職場環境の整備、多様な人材の登用、柔軟な働き方の採用を通じて、安全で働きやすい魅力的な職場を実現します。



### 地域社会の一員として貢献するために

様々な地域活動や防災活動など地域への貢献を通じて、当社グループが地域になくてはならない存在となることを目指します。



### より公正で誠実な企業活動に向けて

経営環境の変化に迅速に対応できる組織体制と透明性の高い経営システムを構築し、公正で誠実な企業活動を実践することで社会から信頼される存在を目指します。

## 関連性の高いSDGs





# 参考：当社グループの海外拠点(ベトナム)



1

## ベトナム・イタリー・スチール社

ベトナム フンエン省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）  
生産能力：製鋼45万トン/年、  
圧延30万トン/年



製鋼工場(ハイフォン)

2

## キョウエイ・スチール・ベトナム社

ベトナム ニンビン省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）  
生産能力：圧延30万トン/年



3

## ビナ・キョウエイ・スチール社

ベトナム バリア・ブンタウ省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、丸鋼、形鋼、線材）  
生産能力：製鋼50万トン/年、圧延90万トン/年



4

## チー・バイ・インターナショナル・ポート社

ベトナム バリア・ブンタウ省

事業内容：港湾事業



5

## ビナ・ジャパン・エンジニアリング社

ベトナム ハイフォン市

事業内容：鋳鉄製品製造・販売  
生産能力：9,000トン/年



# 参考：当社グループの海外拠点(北米)



アルタ・スチール  
(アルバータ州)

1

ビントン・スチール  
(テキサス州)

2



## 1 アルタ・スチール(AltaSteel)社

カナダ アルバータ州

事業内容：鋼材の製造・販売、  
スクラップメタルの処理・販売

生産能力：製鋼30万トン/年  
圧延27万トン/年

設立年：2020年(創業は1955年)

## 2 ビントン・スチール(Vinton)社

米国 テキサス州

事業内容：鋼材の製造・販売(棒鋼、鉄球)

生産能力：製鋼25万トン/年、  
圧延20万トン/年(棒鋼)  
鍛造 5万トン/年(鉄球)

設立年：1962年